

## 四国支部 「新猪ノ鼻トンネル工事」現場見学会の報告

四国支部において10月19日に「新猪ノ鼻トンネル工事」現場見学会を開催しました。

当日は29名の方々にご参加いただき、13時30分から3時間ほどかけて工事概要説明、現場見学、意見交換を行いました。

一般国道32号は四国の主要幹線道路の一つですが、このうち猪鼻峠は見通しが悪い急なカーブや坂道が多く、冬季には積雪もあり、交通の難所となっております。これらを解消するため猪鼻道路8.4kmが建設中であり、その一環として長大トンネルの新猪鼻トンネル（全長4187m）が施工されています。今回は関係各位のご厚意により、香川県側の工事を見学させていただきました。

1. 工事名 : 平成27-31年度新猪鼻トンネル工事
2. 発注者 : 国土交通省四国地方整備局 香川河川国道事務所
3. 施工者 : 佐藤工業株式会社
4. 工事場所 : 香川県三豊市財田町財田上地先
5. 新猪鼻トンネル概要（香川県側）：
  - ・トンネル工事延長2800m 発破掘削 NATM 内空断面積 54 m<sup>2</sup>
  - ・小断面トンネルにおいてベルトコンベアによるズリ出し方式を採用
  - ・砂岩、頁岩主体

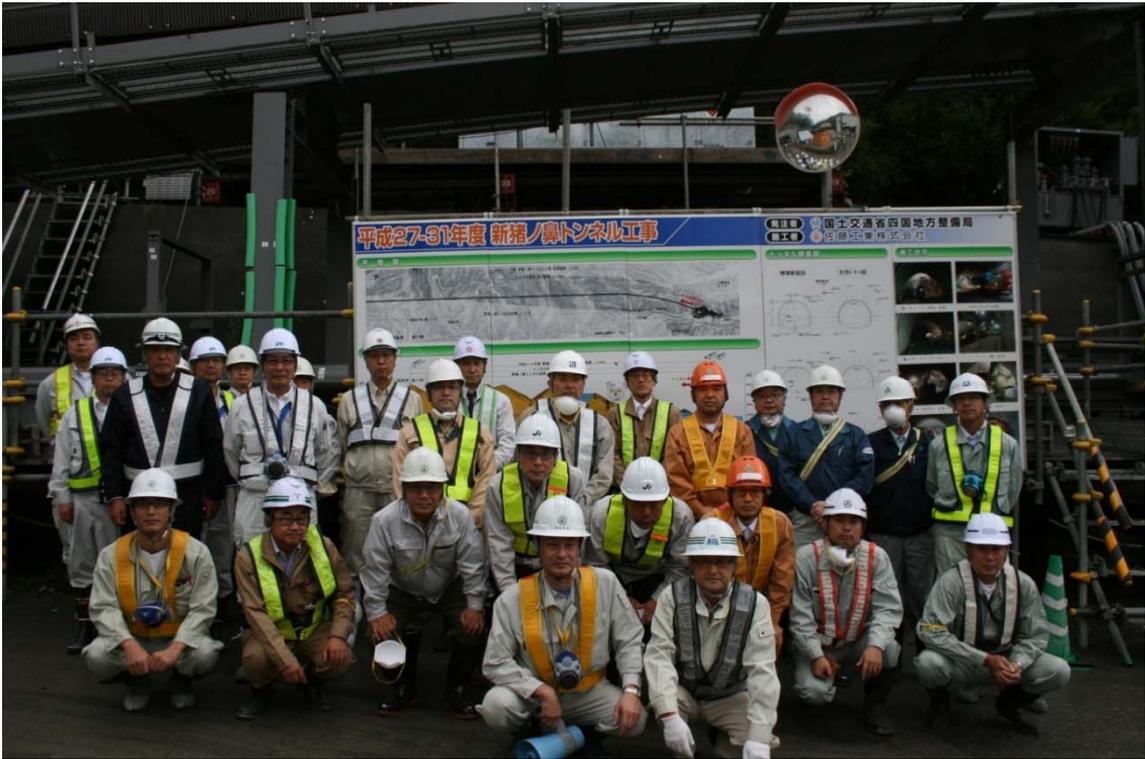
現場見学前に現場事務所会議室にて、合歓垣所長から工事概要の説明を受けました。当事務所は、元は財田中小学校の校舎であり、廃校になった後の活用策として公募があり、事務所として一画を使わせてもらっているとのこと。地域の方々も図工室や体育館を趣味やスポーツの場として利用されておられるとのことで、地域に溶け込み良好な関係を築きながら工事を進められている様子を感じられました。

現場では、長距離トンネルに対応し、連続ベルトコンベアによるズリ出し方式が採用されておりました。小断面トンネルのため、ベルコン採用に当たっては、十分な配慮が必要であったようです。狭いトンネル内でも重機が安全かつスムーズに動けるように、またクラッシャーをできるだけ切羽に近づけてズリ出し効率を確保できるように、ベルコン等に様々な工夫・改善を施して、順調な掘進スピードを確保されていました。当日、すでに1399mトンネル掘削が進んでおりましたが、坑内環境は非常に良好でした。

覆工コンクリート区間についても見学させていただきました。コンクリートの打設、養生等にも工夫されているとのことで、出来上がりは非常に良好に感じられました。

見学後、1時間近く質疑や意見交換の場を持ちましたが、活発でフランクな意見交換がなされ、当研究所本来の活動ができました。現場及び参加者各位に深く感謝申し上げます。

以上



合歓垣所長並びに見学会参加の皆様で



トンネル内の見学